

呈 欄	教育長	部 長	次 長	課 長	補 佐	係 長	館 長	館 員
								  

令和6年度第2回名取市図書館協議会議事録

日時	令和7年2月5日(水) 午後2時30分～3時30分
場所	増田公民館 ホール
出席委員	5名 松本真奈美委員 大沼あゆみ委員 齋藤勇介委員 今野一弥員 本望初枝委員
事務局出席者	名取市教育委員会 教育長 瀧澤信雄 " 部長 齋藤正光 " 生涯学習課 課長 佐藤徹也 名取市図書館 館長 加藤孔敬 " 司書 千田由紀 " 主幹 鈴木香奈恵
傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開会

2 教育長あいさつ（瀧澤教育長）

委員の皆様には、雪模様の寒い中お集まりいただき感謝申し上げます。

図書館の来館者数は、令和元年から令和5年度で100万人を達成した。今年度(令和6年度)は1年間だけで30万人を達成できる見込みである。多くの方にお越しいただいている図書館であるが、イベントを企画したり、工夫している成果であると思う。本日は、数字だけではなく、さまざまな取り組みについて説明していただき、委員の皆様の忌憚のない意見を頂戴したい。

12月名取市議会の一般質問で、デジタル教科書の再考についてという質問を受けた。デジタル教科書をよく考えて使うべきではないかというご提言であった。文科省では、紙の教科書とデジタル教科書を同等に扱うべきではという意見が出ている。スウェーデンではデジタルから紙の教科書に切り替えているという報道がされている。スウェーデンではデジタル教科書にした時に、集中力、長文の読解力と考える深まりに、課題が出てきており、紙の教科書に戻すことが報道されている。

また、東北大学の川島隆太先生により、デジタル端末で学習すると、脳の発達が阻害されるという研究がされており、文科省に、ICT教育でのエビデンスを示すようにと提言している。

私個人の意見であるが、小中学校では紙に書いた文字をきちんと読み取る力を身に付ける、あるいは、絵本、物語文から日本語の何をそこで表現しているのか、情景、心情等を読み取る力を付けていくには、紙の教科書の方が圧倒的に良いのではないかという感じがする。ICTの進歩はAIも含めて目覚ましく、どのように使用していくのかはこれからの課題だと思う。

また、別な議会質問で、図書館に対して、デジタル図書を整備すべきというご提言をいただいている。現在、本格的にデジタル図書を導入するところまではっていない。デジタル社会と、紙のアナログな書物、本をどのように考えていくか、大事なポイントがそこに含まれていると思う。

本日は、図書館より今年度の利用状況の報告や来年度の方針について、提案させていただくので、委員の皆様には様々なご意見、ご助言をいただきたいと思う。

3 会長あいさつ(松本会長)

委員の皆様には、お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

現代の世の中、なかなか答えを出せそうにない様々な複雑な問題、課題が山積みである。その中の生活者として、市民の皆様が様々な課題解決をするために、図書館の役割はますます大きくなっていくと感じる。

本日は、図書館より上半期の利用状況等の報告、来年度の運営方針についての提案がされるので、委員の皆様には忌憚のない意見をお願いします。

4 会議成立の確認

名取市図書館条例第11条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していること報告。併せて、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となることを報告。

5 議事

条例第11条第1項の規定により、松本会長が議長となり議事を進行。

(1) 令和6年度上半期利用状況及び事業報告について

① 資料に基づき千田司書説明。

② 行事、相互貸借について、スライドショーにて千田司書説明。

松本議長

利用者数や貸出数等が増加していることは資料より、上半期の様々な事業についてスライドで説明いただいた。

また、他館からの借用について、日頃利用者としてはあまり目にする事のない、実務の様々なことについて報告を受けた。日頃、図書館員が大変気を遣う業務を行っていることがよく分かった。

では、委員に意見・質疑を求める。

齋藤委員

年々事業が充実していき、今年度については例年以上に来館者数が増加見込まれていることから、

地域の方々に必要とされる図書館の位置付けになっている。

情報発信についても、ICTの活用であったり、市民の方に届きやすい発信の仕方になっている。

ナイトライブラリーも興味深いものとなっており、是非参加したい。充実した事業を新年度に繋げていただければと思う。

大沼委員

来館者数が増加しているということで、様々な事業で真似をしてみたいと思うところがあった。「大好きな人ありがとう絵画展」では、「大好きな人」というネーミングであれば、特定の関係でなくとも、お世話になった人に感謝の気持ちを表せると、大変参考になった。

そこで、質問だが、多くの事業が行われる中で、皆様に親しまれている理由や、どのようなところが効果に結びついているか、どのように分析しているか伺いたい。

加藤館長

名取市図書館友の会「なとと」が中心となりやりたい事業、取り組んでみたいことを行っている。

この他に、能登半島地震の支援については、笑い文字のワークショップを開催したが、図書館を利用している市民の方々から良い意味で反響して、図書館がマッチングしている部分もある。

また、下半期の事業報告になるが、尚絅学院大学の松田道雄教授から婚活について図書館で開催してみてもどうかというお声掛けをいただいて、そういったものにマッチングして取り組んでいる。

最後に図書館を利用している方は、本が好きな方や、夢を持っている方が多いので、そういった部分を応援できるよう検討しながら実施している。

今野委員

非常に努力していて、様々な取り組みをしているということで、大変感銘した。貸出数についてだが、中学生の部分が減少している。何か理由があるのか。読書数が減少しているのは、昨今の環境の様々な影響なのか、教えていただきたい。

また、学校では、教職員の数が減少し、その影響からオーバーワーク気味である。図書館でも限られた人数と予算の中で事業を行っていると思うが、オーバーワークになっていないか。

加藤館長

中学生の貸出数は確かに減少している。来館はしているが、貸出数に結びついていない。

現在の取り組みとしては、中学校司書と連携して、中学生を対象としたイラストコンテストを企画、開催している。来館者投票で上位の生徒のイラストを、中学校司書が推薦する図書のブックリストに掲載して、本を身近に感じてもらい、読書に結びつける取り組みを行っている。

また、図書館ポスターコンテストも同様に開催している。

中学校図書館の利用状況については、増加していると中学校司書から報告を受けている。このことから相乗効果で利用が促進されるよう連携して取り組んでいきたい。

オーバーワークにならないのかというご質問に対してだが、限られた人員の中で何ができるかを考えている。また、本の修理、返却本の排架等、名取市図書館友の会「なとと」にも協力いただいている。そして、行事についても市民の方のアイデアや人員等協力をいただいている。今後もバランスを取りながら進めていきたい。

本望委員

ボランティアの立場から、日頃、名取市図書館の活動が充実していることに感謝する。本を借りる、返すだけではなく、様々な行事があると最近認識してきている。図書館職員がオーバーワークになっていないか心配である。

お話し会を開催していく中で、使用する本を早めに借りよう努力し、他の図書館でも借りている。相互貸借だと取り寄せに数日掛かるが、借りたい本がどの図書館にあるかという情報だけを知りたい時は、教えていただけるのか。

また、公民館の利用で巡回に行っていると思うが、遠い地域の方は図書館のイベントに接することが難しいのではないかと心配している。以前開催した文化会館での出張貸出のように、本を貸し借りするだけではない工夫があればと思う。

オーバーワークの話があったが、ボランティアも不足気味であり、養成するような講座が必要だと検討している。

松本議長

- 1.相互貸借の具体について
- 2.地区による利用者数について
- 3.ボランティア育成について

事務局から説明をお願いする。

加藤館長

- 1.相互貸借の具体について

カウンターに相談いただいても構わないが、他の図書館の蔵書の状況については、宮城県図書館のホームページで横断検索ができ、県内の図書館での蔵書や、貸し出し状況が分かる。

- 2.地区による利用者数について

地区による利用についてであるが、図書館に近い方の利用が多い傾向にある。そうした中で、下半期の活動にはなるが、閑上公民館まつりで試験的に出張貸出を開催した。今後もイベントがある時で、職員が対応できる時に行っていきたい。

- 3.ボランティア育成について

今年度、3回連続の読み聞かせボランティア養成講座を開催した。この講座は、ボランティアと図書館職員からなる、読み聞かせボランティア連絡会を作り、企画開催した。養成講座後、会員が2名増えた。

今後も、ボランティアが増えるような取り組みをしてきたい。

(2) 令和7年度図書館運営方針について …資料に基づき加藤館長説明

令和6年度の運営方針から、次のように変更したいがよろしいか。

具体的施策、2番目の重点目標の⑥を追加。

松本議長

令和6年度の運営方針との違い、令和7年度の運営方針(案)について説明があった。

では、委員に意見・質疑を求める。

本望委員

来年度に向けて学習席を増席することは、良いと思う。勉強の場で、何か困ったようなことはないか。

加藤館長

図書館利用の年齢層は、時間帯によって違う。夕方は学生の利用が多く、土日の開館前に行列を作って並ばれることもあり、席数を増やすに至った。本を借り返す場所だけではなく、読書をしたり、学習したり集う場所になってきている。その際、マナーや利用について注意していきたい。

今野委員

増席するにあたって、利用者にとってこのような問題が起きる等想定しているか。

加藤館長

懸念しているのは、換気の問題である。コロナが流行った時のように、換気や二酸化炭素濃度には注視したい。また、マナーについても、友達同士で話し込み周囲に迷惑とならないよう注意していきたい。

大沼委員

「乳幼児から小学生までのすべての子どもが本と出会う機会を提供する」とあるが、この中にこれから産まれてくる赤ちゃんのプレママも入れてはどうか。

また、来館者に、年代別のアンケート等を取ってみることも、今後の図書館の運営のためになるのではないと思う。

加藤館長

プレママへの提言は効果的と捉え、ピヨピヨおはなしタイムもあるので、どのように取り入れられるか、検討したい。

齋藤委員

学習席の増席について、今の学生のニーズを捉えていると思う。ビジネスマンに対しては、コワーキングスペースのような活用の視点も入っていると思う。学習の場を読書の場に繋げていく、具体的な取り組みはあるか。

また、図書館の活動を充実させるために、ボランティアの募集をしていると思うが、何か、より参加したいと思っていただけるような布石があれば教えていただきたい。

加藤館長

一例としては、図書館を使った調べる学習コンクール等を通して繋がれたらという思いがある。

また、ビジネスで PC コーナーを使用、学び直しなどをする方がいらっしゃる。旧館と比べて施設が充実し利用が多様化する中で、来年度更にテーブル席を増設することで充実を図りたい。

ボランティアについてであるが、読み聞かせの活動はハードルが高いと考える方もいるかもしれない、図書館では本の排架や、図書館のトイレに花を生けることなど、少ない時間、身近に出来そうな活動が該当すると思われる。

松本議長

他に意見・質疑はないか。

委員

案のとおりで、異議なし。

(3)その他

令和6年度図書館要覧の配布

令和7年1月22日付 読売新聞 宮城県版 松田道雄教授 名取市図書館婚活記事配布

令和7年3月30日 高島那生 講演会&ワークショップ チラシ配布

令和7年2月6日 18時半頃 NHK仙台放送局 てれまさ みやぎアップデートに名取市図書館司書が取材を受け、放映される旨の説明

松本議長

お気づきの点はあるか。

なければ終了とする。

委員

なし。

6 副会長あいさつ(大沼副会長)

事業報告、事業計画を分かりやすく示していただき、有意義な時間が過ごせた。

相互台小学校でも、図書館を使った調べる学習コンクールで、生徒が香りについてまとめたものが入選した。委員として、学校教育と、家庭教育と、社会教育は繋がっていることを実感した。来年度も図書館がますます発展することを期待している。

7 閉会